

~~~~~ 農村の学校に音楽を普及させよう ~~~~~

米国のヴァermont州のシュルスベリという農村には、移動音楽図書館が毎月訪れて、学校の子どもたちを楽しい時をあたえています。この移動音楽図書館は、学校の音楽の時間のための材料を貸し出したり、あるいは、課外の音楽教育の材料を提供します。

移動音楽図書館はアントニア音楽棚として知られている有志の人々の手によるプログラムのひとつです。それは、アントニア・サロイスという温かい寛容な婦人を記念して、1950年に始められたものでした。彼女はその地方では美しいソプラノで有名であり、音楽を普及させるのに力をつくした人でした。その音楽棚の目的は、このサロイス夫人がその生涯において音楽の普及のためにつくした貢献を永続化しようということなのです。

今日では、その音楽棚の中央図書館とでもいうべきものは、ひとりの有志会員の家庭の大きな戸棚の中におかれ、そこに集められる楽譜、レコード、有名な作曲家についての書物、音楽雑誌などはどんどん増加しています。そのレコード蒐集の中には子どものための音楽があり、古典、単古典があり、いろいろの国の民謡もふくまれています。

音楽図書館は、有志の人の手によって運営され、すべて無料で貸出されます。子どもたちが主対象ですが、おとなも利用できます。

移動音楽図書館は1953年に加えられました。有志の会員が毎月1回、8つの学校を巡回して、貸出をします。

この記念プログラムが始められて2年後から、スカラシップ制度もつくられました。それは子どもたちが音楽才能を伸ばすために、音楽のレッスンをするのに月謝を補助するものです。それから、教師たちのためにワークショップを開くこともしています。

毎年2回、コンサートを開きますが、これがこの企画の主たる財源となります。春には学生が主体となり、秋には専門の音楽家がそのために労力を提供しています。

—USIS提供—

